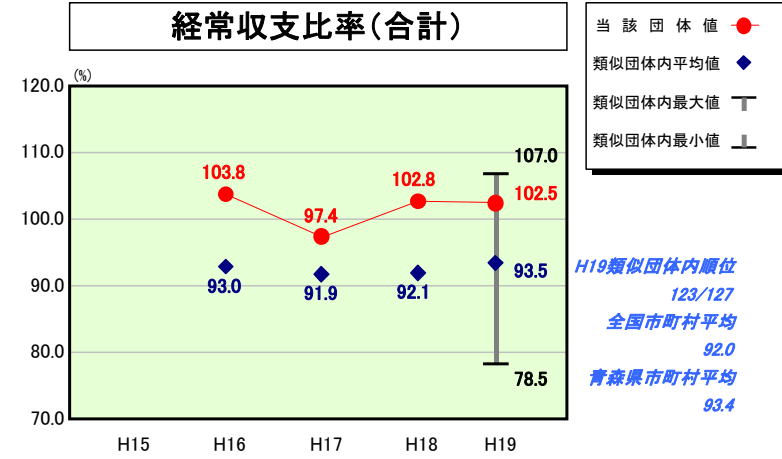


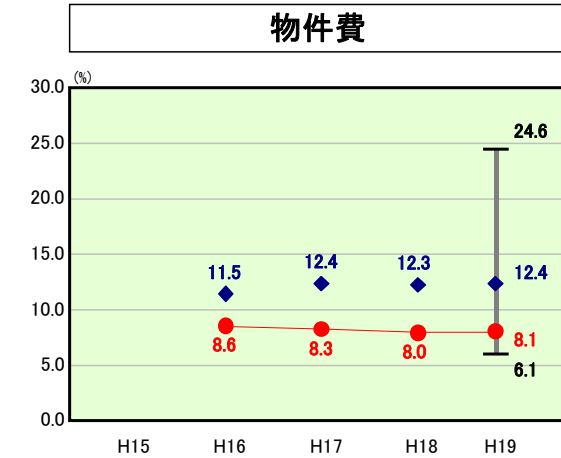
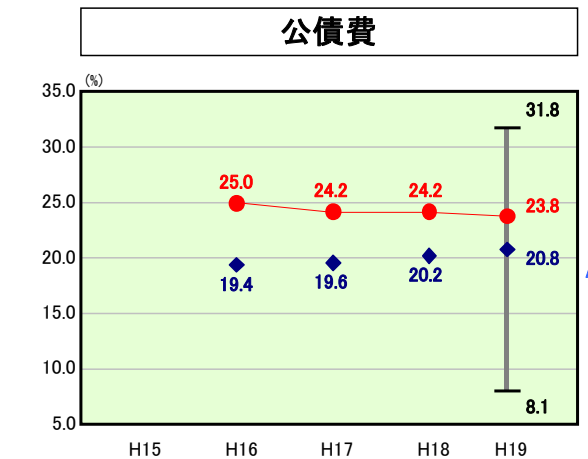
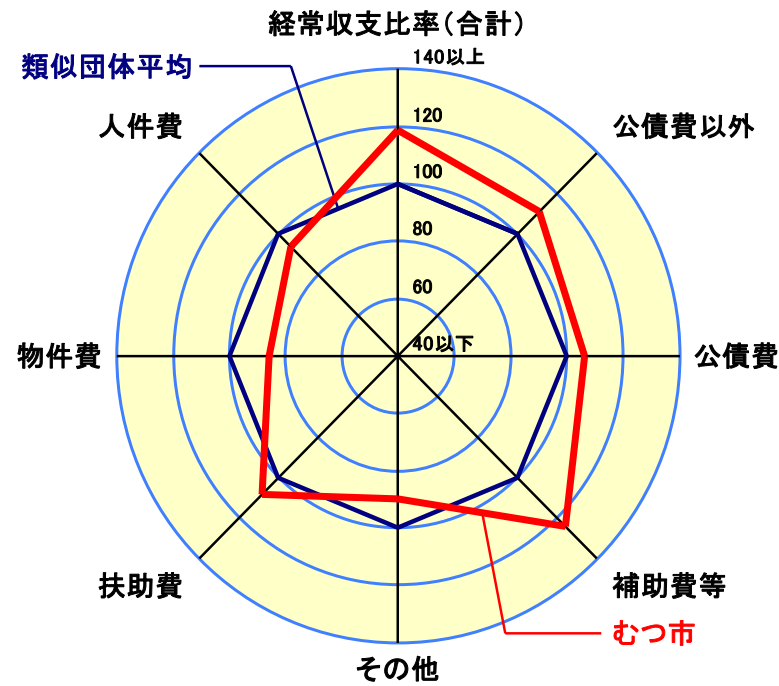
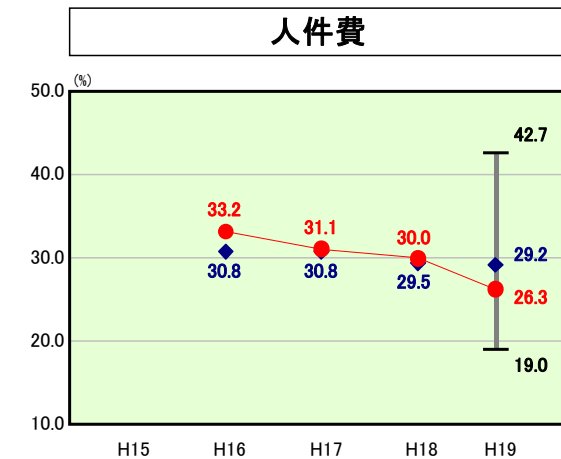
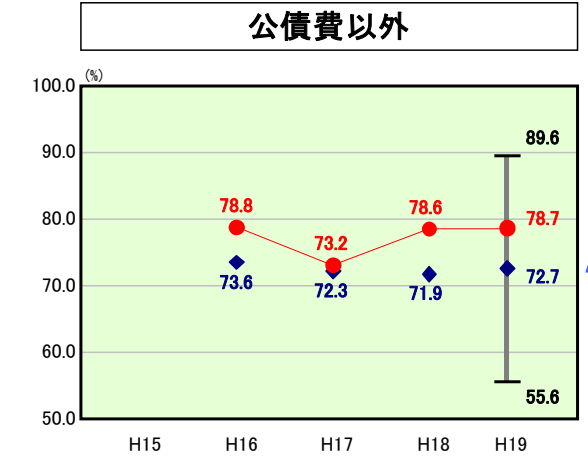
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

青森県 むつ市

経常収支比率の分析



人口	65,129人(H20.3.31現在)
面積	863.79 km ²
歳入総額	29,123,756千円
歳出総額	31,225,599千円
実質収支	-2,103,204千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】
 類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は2.9ポイント下回っている。退職者一部不補充等による職員数の削減で今後の人件費を抑制するとともに、長期総合計画に基づいた施策の重点化にも取り組み、活力あるまちづくりを展開しながらも行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。

【物件費】
 類似団体平均と比較すると4.3ポイント下回っている。これは、ごみ処理業務等を一部事務組合で行っていることが要因としてあげられるが、各種業務に対する経費を負担金(補助費等)として支出しているためである。このことは物件費の低下に対し、補助費等の数値の上昇という比率の推移に現れている。

【扶助費】
 類似団体平均と比較すると1.7ポイント上回っており、かつ年々上昇傾向にある。要因としては生活保護費の額が急激に膨らんでいることがあげられる。不正受給の防止等、生活保護の適正実施に努める。

【補助費等】
 類似団体平均と比較すると14.1ポイント上回っている。これは物件費の欄で記述したように、ごみ処理業務等を一部事務組合で行っており、各種業務に係る経費を負担金として支出しているためである。

【公債費】
 類似団体平均と比較すると3.0ポイント上回っており、これは昭和60年代からの学校建設や平成12年以降一部事務組合で建設した一般廃棄物、し尿処理施設等の起債償還により、比率が悪化したものである。平成17年度に元利償還金はピークを迎え、今後は減少していく。

【その他】
 類似団体平均と比較すると2.6ポイント下回っており、これは病院事業等の公営事業を一部事務組合で行っており、その経費については負担金(補助費等)として支出しているためである。

【人口1人当たり普通建設事業費】
 類似団体平均と比較すると21,377円下回っており、減少率は30.7ポイント上回っている。市の財政状況は、非常に厳しい状況が続いており、今後も引き続き普通建設事業費を抑制していく必要がある。

